



鼻めがねという暴力

虐待予防策

この本を書くにあたって

- 自分の会社で虐待があったこと。
- 不適切な対応から二種類の虐待へつながる。
- 虐待は、他人事ではないこと。他人事が虐待を生むこと。

これらを伝えたかった。

自分の会社で虐待があったこと1

- 虐待に至るまで

職員の孤立

リーダーの不在

事実確認の遅れ

虐待の前兆と虐待の種類

- 不適切な対応
虐待を誘発する不適切な状況と対応。
- ぶち切れ型
感情爆発を伴い、暴力・暴言が出る。
- もてあそび型
人の尊厳をじわりじわりと侵食する。

不適切な対応（虐待を含む）

- 虐待に至る前の不適切な対応
 - 虐待は、理不尽な関係の強要
- 不適切対応は、不適切な関係性を意識、無意識両方でその状況を許容すること。
- * お化粧の強要
 - * トイレ介助の際の一言
 - * ため息 舌打ち
 - * 手を強めに引く など

予防の基礎 日常的な他人事

- 自分はしない。
- 自分は関係ない。
- 他人事の日常
- 想像力の欠如

<対策>

基本：清掃・整理整頓・挨拶

体験：実際行ってみる

訓練：客観視

研修：情報の共有・共感

2種類の虐待 ぶち切れ型1

- 感情爆発を伴う

従来型

職員追い込まれ型（私もここに当てはまりそうになりました。）

一人で、人目に付かないように

DVと同様の心理変化を伴う

2種類の虐待 ぶち切れ型2

<予防の取り組み1>

ストレスマネジメント

セルフの場合・チーム(組織)の場合

コミュニケーションの取り方

コミュニケーションの理解とルール

目的の共有と理念の理解

2種類の虐待 ぶち切れ型 3

<予防の取り組み2>

面談

具体的な方法(場所、時間、タイミング)
留意点(質問上手になること)

ミーティング

不満への対応、合意形成

研修

意図の説明・動画の導入・センター方式

2種類の虐待 もてあそび型1

- あざけりやからかいが前提

「かわいー♪」と嘲笑する。

人格や身体をもてあそぶ(四の字固め・犬のよ
うなあだ名で呼ぶ)

SNSで上記のことを仲間内でシェアする。

ウケを狙う。

ノリで行う。

2種類の虐待 もてあそび型2

< 予防の取り組み1 >

申し送り・生活記録

日々の入居者さんの表情などをテーマを決めて申し送る。

イベントなどの様子をテーマを決めて、申し送る。

2種類の虐待 もてあそび型3

<予防の取り組み2>

ミーティング

職員間の認識の共有

対象者に対する意識の確認(言葉の選定)

対象者と笑いあう瞬間の認識(笑いものにし
ない)

研修

動画の導入

外部の目

最後に

- 後悔しないための今